



2019年度事業

事後評価および点検検証の実施に関するご案内



詳細は研修時(2022年6月28日)に説明します。
ご不明点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

1.事後評価の目的



事業成果の達成状況の評価と事業の妥当性を自己評価します。

「事実特定＋価値判断」
をそれぞれに行う

成果の可視化

事業の成功要因と
課題の検証

事業にとって重要と
判断する項目
(任意)

根拠とともに結論を出す

事業の成果の達成度
どうだったか？

事業実施プロセスは
適切だったか？

事業の実施の妥当性
(価値)は高かった
か？

学びを抽出する

提言
(自団体・事業関係
者・資金分配団体・
JANPIA)

知見・教訓
(汎用性のある
学び)

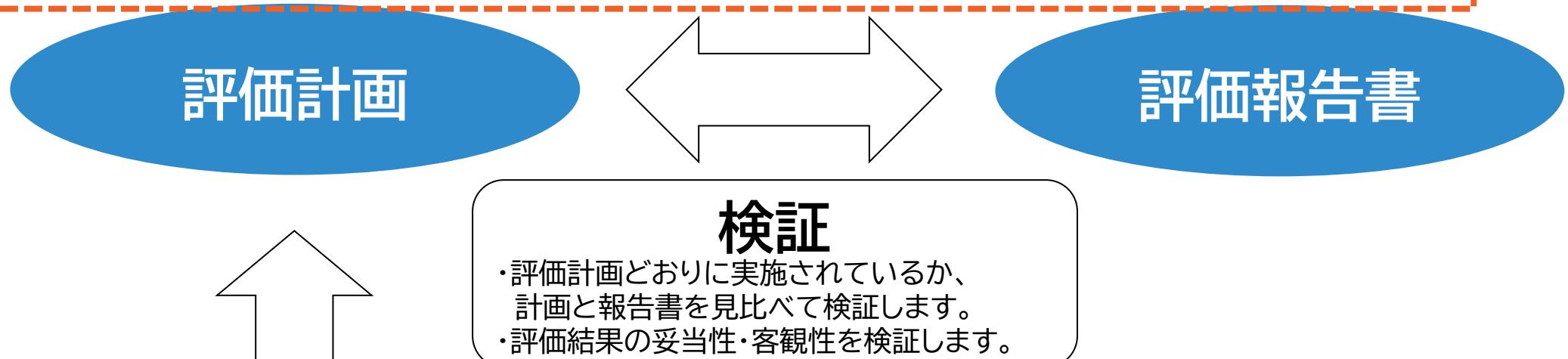
社会課題解決
に役立つ
知の構造化を
目指します

「成果の可視化」は、あらかじめ設定した短期アウトカム指標のほか、波及的・副次的・想定外の成果も含めて検証を行い、事業の効率性についても検証します。

2. 事前・中間評価と大きく異なる点 ~中間評価を受けての改善~



これまで点検検証は評価実施後に行っていましたが、「評価実施前に助言を受け、評価に反映させたい」というご提案に対応するため、**評価実施前に、評価計画の「点検」を行い**、評価の質を事前に高めることを目指します。



点検

計画は客觀性・妥当性が担保されているか？

- ・実施体制
- ・アウトカムの測定・分析方法
- ・波及・副次・想定外の成果の検証方法
- ・事業効率性の検証方法
- ・成功要因・課題の分析方法など

3.「点検」の実施方法



【資金分配団体の計画の点検】

団体ごとにJANPIA担当PO、評価チーム、評価専門家と「場」を設定します。

実施時期：7～9月末（資金分配団体の希望時期にて調整）

JANPIAにて点検チェックリストと専門家コメントをまとめたものを記録として作成・共有します。

（非公開）

【実行団体の計画の点検】

月次定例会等の場において、資金分配団体にて「点検」を実施してください。

実施時期：資金分配団体の「点検」後、遅くとも10月末を目途とする。

提出物：「点検」チェックリスト(JANPIA様式)・あるいは同等の書類(非公開)

提出時期：点検終了後、速やかにJANPIAに提出してください。

3. 点検に向けて「事後評価計画の具体化」とは



<具体化する項目例>

評価実施体制・方法の妥当性・客観性を担保するために、計画を具体化し、関係者で内容を確認・協議します。

- 実施体制
- 実施スケジュール
- アウトカムの測定方法
- アウトカム測定結果の価値判断の仕方
- 成功要因・課題の分析の仕方
- 事業効率性の検証方法
- 事業で重要とする事項が検証される計画になっているか
- 提言、知見・教訓を導き出す方法
- 評価関連経費の活用方法

不明点やお悩み等
は、「点検」の場を
活用して改善して
いきましょう！

4. 留意点



- 事後評価実施時期は、事業活動の繁忙期を避け、団体ごとに適切な時期を設定してください。
 - 事後評価報告書提出期限は、事業完了報告書前としていますが、前倒しで実施・提出いただいても構いません。
 - 評価の実施時期に関係なく、事後評価の計画は、遅くとも2022年10月末までに「点検」を行ってください。
- ※ 不明点がある場合には、JANPIA担当POにご相談ください。

5. 検証の実施方法



事前評価・中間評価と同じ位置づけです。
評価報告書の妥当性・客観性を点検・検証します。

事業終了時となるため、「場」の設定は行いません。

書面による「検証」を行い、「点検・検証結果」として、別途公開用文書を作成します(中間評価と同じ)。

6. その他ご案内



【各種書類掲載予定】

- 実行団体向け「事後評価ハンドブック」はJANPIAホームページにて6月中旬頃に公開予定
 - 事後評価報告書の様式と点検・検証チェックリスト等は確定次第団体ページにて公開予定
- ※ハンドブックは、団体ページではなくJANPIAホームページへ掲載します

【研修のご案内】

- 事後評価に向けた資金分配団体向けのPO研修(全団体必須)
2022年6月28日(火)9~12時半@オンライン